

科目名	対象学科・学年 教福 4 回生	担当者
ゼミナールⅡ		高村 博正
授業テーマ： 3 年生のときに培った英語発音の自己訓練法を出発点にして、英語教育の可能性を考える。または自由研究。		
授業の概要と目標： 英語というキーワードを核として、各自が自由な研究を行う。英語以外のテーマ・ジャンル・視点でももちろん構わない。各種の研究手法の紹介や実習は前期に行い、後期は各自が設定した研究目標にむかって実践する方向に進みたい。イメージーションをふくらませて、意義のある一年の教育・研究活動を体験させたい。 ★今年度は、各自の卒論テーマをめぐって各自が自由にアポを取り、毎週（または適宜）個人研究室において個人指導を受ける。		
評価方法： 前期・後期の定期試験の他に、毎回の個人指導の内容と成果が評価の対象になる。毎回の評価点（100 点満点）の積算を講義回数で割り、その 6 割以上獲得が基本となる。優良可の評価は従来通り。欠席は-20 点を加算。遅刻は当日の全得点を半減する。スコアカードによる毎回の評価点は、授業のための準備評価が 5 割を占め、授業での発表内容評価が 5 割となる。同時委に、教師が学生を評価するだけでなく、逆に学生が教師を毎回評価するシステムも採用する。		
テキスト： 各自の研究目標にあわせて指導する	著者：	出版社：
参考書： 授業中に印刷物（ハンドアウト）で適宜知らせる。	著者：	出版社：
授業スケジュール・内容：		
【前期】 【後期】		
16. 口頭発表と討論① 17. 口頭発表と討論② 18. 口頭発表と討論③ 19. 口頭発表と討論④ 20. 口頭発表と討論⑤ 21. 口頭発表と討論⑥ 22. 口頭発表と討論⑦ 23. 口頭発表と討論⑧ 24. 口頭発表と討論⑨ 25. 全員集合：各自のテーマ発表会 26. 代表学生による最終モデル・プレゼン 27. プレゼンの合評の時間 28. 最終講義と討論① 29. 最終講義と討論② 30. 最終テスト		
★在学生・卒業生・近隣の市民を対象に、毎週木曜日の 2 限と昼休みに「英語・通訳勉強会」を開いている。自由参加であるのでこのクラスの評価に連関しない 課外活動であるが、ゼミ 1 の成果の確認には最適の機会である。できるかぎりこういう機会を利用して、コミュニケーションとしての英語力を身につける態度が重要である。詳しくは担当者の個人的ホームページを参照のこと： http://www.ne.jp/asahi/takamura/hiromasa/		
★英語や発音訓練や通訳訓練に関する各種質問やコメントはメールで送信すること（takamuh@osaka-ohitani-u.ac.jp）。		
★毎回提出するスコアカードは、採点后、その次のクラスで各自に返却する。		